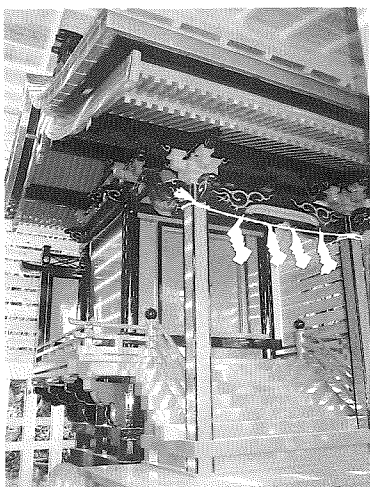


男具那社



静め、無事平定がなかった。戻る途中東京湾を振り返り「我が妻よ」と言ったことからこの地を「吾妻」と呼ぶようになったと記されている。尊は東征を終え大和に帰り「倭は国のまほろば たたなづく青垣 山隠れる 倭し美し」と詠んだように、

日光から護られるようになった。三月三十一日に遷座祭が行われ、五月十五日午前十時より男具那社祭が執り行われる。五月頃の奥の院はシロヤシオが咲き誇り、かつては多くの方が参拝していた。また、新緑の風薫る男具那社祭はどんなでもご参列できますので、竣工間もない奥の院へぜひお出かけ下さい。



- 営繕資金 (五千円以上・敬称略)
あきる野市 警本忠次
あきる野市 ハルビン孫家会
足立区 石井長衛
足立区 東京千住睦講
青梅市 瀧柱郎
大田区 熊谷憲一郎
川崎市 新倉忠男
川崎市 昭栄講 土井智幸
新座市 佛光音堂
新座市 高野土地
新座市 野島廣治
新座市 並木利男
新座市 並木平一
新座市 田中誠治
東久留米市 五十嵐剛
文京区 金子祐輔
横浜市 成田君造
横浜市 福島誠太郎

- 奉納 (五千円以上・敬称略)
伊勢市 神路社
市川大門町 丸井紙店
入間市 内野・大谷
江戸川区 佐藤哲雄
江戸川区 遠藤真喜男
青梅市 加藤牧子
青梅市 吉原暢近
青梅市 澤田均
青梅市 瀧柱郎
青梅市 馬場安輝実
青梅市 馬場輝光香
奥多摩町 平原イシ
奥多摩町 佐久間建設
葛飾区 樋口タマ
葛飾区 米田佳古
川崎区 中沢建
川崎区 平間由紀江
川崎区 細田昌義 澄子
世田谷区 佐藤伸子
多摩市 峯岸一雄
調布市 金井孝雄
調布市 石谷嘉子
調布市 丸山文子
所沢市 杉本正
所沢市 中春太郎
所沢市 小野清美
中野区 堀越裕史
中野区 三好嘉子
練馬区 下練馬講
練馬区 須崎嘉子
羽村市 瀧伸明
文京区 金子祐輔
文京区 風光社
武蔵村山市 向サンベアー 進藤喜一
武蔵村山市 成田君造
群馬県 都山流尺八楽会
群馬県 群馬県奉賛講 石田利久
栃木県 御本願寺維持財団
天祖神社 小林保男
藤坂昌義
中島のぞみ

御嶽神社 あれこれ

太々神楽って何？

「わーこっちこっち」「もっ」と後ろにもちようだーい」早春の御岳山になにやら楽しそうな声がかだましています。なんだろう？のぞいてみると大鳥居前の広場でお餅やお金を撒き、ざるを持った子供達や登山者が嬉しそうに拾っています。これは春の御岳山の風物詩ともいえる「太々神楽」の一場面です。

拾う人は勿論ですが、投げている方もとても嬉しそうです。これは家の建前と同様に、今日の喜びを分け与えるために行うようですが、大変おめでたい事で、湧き出る喜びや感謝があふれて持ちきれず、道中でこぼれてしまうからともいわれます。天保五年に出された江戸から御嶽山までの道中記、「御嶽菅笠」にも太々神楽の旗を持って、楽しそうに参拝する人々の様子が描かれています。太々神楽は最も格式の高い参拝方法で、御嶽神社を崇敬する各地



区の組織である講中などが、神社との仲立ちをする御師を通じて神社に申し込みます。奏上当日は、神社の神職でもある御師の宿坊で、神社からのお迎えを待ちます。お迎えの神職が到着し、宿坊広間の内神殿前でお祓いを受け、身や散供物(お餅やお金)を清めます。その後、清めの証である清祓いを身につけ神社へと向かいます。途中、手水舎のある大鳥居前広場にて お餅やお金を撒きます。すると待っていましたとばかりにそこに集まった人が拾います。山に住む子供達の楽しみの一つでもあります。

神社に到着すると先ず祭典を執り行い、神に感謝と喜びを伝え今後の誓いをたて、その後神楽奉納となります。当社の神楽は二百年以上前に江戸より伝わり、神話を題材にした里神楽と儀式的な神楽があり、東京都の無形民俗文化財に指定されています。そして、楽(伴奏)や舞など全てが代々神職によって受け継がれております。太々神楽の名称は、神楽だけでなく、祭典などを含む一連の儀式を指し、太々の「太」という字は美称の詞とされ、参拝の方は太という詞を重ねて表すほどの壮美さを、一連の儀式の中で感じとられたのでしょうか。また、神楽は神にご覧いただく神事であるため神前に向かって舞われます。神様にご覧いただき、あわせて参拝者も神楽を見て、神人共に楽しむことに意義があります。神楽終了後は清祓いを納めて御神酒をいただき、\*万度と呼ばれる特別な御札を受けて太々神楽の儀式をおさめます。神楽は一般公開(六月・九月)もされますが、儀式の一部であるため、神楽の前には身を清める修祓が必ず行われます。



これから春にかけて太々神楽の奏上が多くなります、運良く太々神楽の日に居合わせたなら、あふれてこぼれおちる喜びと感謝がありがたく持つて帰ることが出来ます。なお、一般の方で太々神楽の奏上をご希望の方は神社へお問い合わせください。\*万度 神楽大麻ともいわれ、太々神楽を奏上した方だけに授けられる、大変おめでたくありがたい御札です。神楽を通して神様と楽しみを共有し、神様のよりお側近くでご参拝することが、二万回(度)お参りした事と同じ意義があるのでもう呼ばれます。